



美しいものに感動できる
「豊かな感性を育むまちづくり」

恵まれた自然環境や歴史、文化を守るとともに人々の豊かな情操を育み、さまざまな文化活動を支援する都市を目指します。

HAPPINESS
KUMAMOTO

美しいものに感動できる
「豊かな感性を育むまちづくり」
歴史文化
REKISHI-BUNKA

熊本城

本市は歴史に培われた多彩な文化に恵まれ、古代から近代に至る186件もの文化財が国・県・市の指定を受けています。中でも、歴史都市くまもとの象徴となっているのが熊本城です。

熊本城は加藤清正が築いた約98万平方メートルもの豪壮雄大な城です。そのうち本丸、二の丸を中心とした43万平方メートルは国の特別史跡に

指定されています。しかし、建物の大半は、明治10年の国内最後の内戦である西南戦争の際、薩摩軍総攻撃の直前に火災で焼失しました。現存する宇土櫓、長堀など13棟の建物は国の重要文化財に指定されています。

熊本城復元整備

昭和35年の天守閣復元以来、市では石垣修理や櫓等の復元に努めてきております。平成9年度に策定した「熊本城復元整備計画」に基づき、

平成19年の築城400年（2007）を目途に西出丸、飯田丸一帯及び本丸御殿一帯の建造物・石垣等の復元及び活用を中心とする整備をおこない、旧来の姿に戻していくことにしています。

熊本市はこの復元整備に向けて「熊本城復元募金」（一口城主）制度を平成10年4月にスタートさせ、寄附を募り復元整備費用の一部に充てることにしております。

熊本城復元予想図



○ 現存する建物
□ 復元予定建物

- | | | | |
|-------------|----------|-----------|-----------|
| ① 西大手櫓門 | ⑤ 馬具櫓 | ⑪ 戌亥櫓 | ⑮ 本丸御殿大広間 |
| ② 頬当御門 | ⑥ 長堀 | ⑫ 元太鼓櫓 | ⑯ 数寄屋丸五階櫓 |
| ③ 大天守 | ⑦ 平御櫓 | ⑬ 未申櫓 | ⑰ 御裏五階櫓 |
| ④ 小天守 | ⑧ 田子櫓 | ⑭ 南大手櫓門 | ⑱ 櫓方三階櫓 |
| ⑤ 宇土櫓 | ⑨ 七間櫓 | ⑩ 飯田丸五階櫓 | ⑲ 北大手櫓門 |
| ⑥ 数寄屋丸二階御広間 | ⑪ 十四間櫓 | ⑪ 百間櫓 | |
| ⑦ 西櫓御門 | ⑫ 日細川刑部邸 | ⑫ 西竹の丸五階櫓 | |

HAPPINESS KUMAMOTO

美しいものに感動できる
「豊かな感性を育むまちづくり」

史跡・文化財

SHISEKI-BUNKAZAI



ジェーンズ邸



新町獅子

史跡・文化財は先人からの贈り物であり、市民共有の財産です。また個性豊かなまちづくり、人情味あふれるまちづくりにも大きな役割を果たすもので、その保存・活用に努めています。

古代から人々の生活の営みが遺跡として、市域内で約455ヵ所も確認されています。特に注目されているのが、黒髪7丁目の県指定史跡「つつじヶ丘横穴群」と池上町平の国指定史跡「池辺寺跡」です。

つつじヶ丘横穴群は古墳時代後期にかけ面を直接掘りこんで造ったもので祭祀跡がそのまま残されています。また、池辺寺は平安時代の山岳密教寺院と考えられ、埴敷（レンガの一種）の建物跡や規則的に並ぶ不思議な石積みが発見されました。

また、熊本は幕末から明治、大正、



つつじヶ丘横穴群

昭和と時代の大きなうねりの中で、横井小楠を始め多くの思想家や文豪が活躍してきた地でもあります。市では現在、夏目漱石内坪井旧居を始めとし8ヵ所の記念館を一般公開して、ふるさとを築いてきたこれら先

哲を顕彰しています。

さらに、本市には多くの伝統芸能や伝統技術なども数多く伝えられています。これらの保存継承のために後継者育成などの支援にも努めています。

HAPPINESS KUMAMOTO

美しいものに感動できる
「豊かな感性を育むまちづくり」

都市景観

TOSHI-KEIKAN

美しく活力ある森の都くまもとの都市景観を創造するために、本市では平成元年10月に都市景観条例を制定しました。

この条例では熊本城や水前寺・江津湖の周辺地域ではこれらを生かし熊本らしさを際立たせるような、市内全域ではそれぞれの地域の特色を生かすような都市景観の形成を目指しています。平成3年4月には大規模建築物等の届出を開始し、平成9年9月からは主要幹線沿いの沿道景観の向上を目的に特定施設届出制度を創設しました。

また、平成8年4月の中核市への移行に伴い、これまで県が行ってきた屋外広告物の許可、道路上の違法なはり紙、はり札、立て看板などの除却、違法ポスターの減少を目的としたコミュニティボード設置事業などの事務・事業が県から本市に移譲されました。

これらの事業は都市景観の大きな要素である屋外広告物を規制・誘導し、歴史と自然を生かした良好な景観形成と快適な環境の維持を目的としています。



明十橋と旧第一銀行



景観形成建造物（新町）



県立図書館横の湧水

HAPPINESS KUMAMOTO

美しいものに感動できる
「豊かな感性を育むまちづくり」

市民文化 SHIMIN-BUNKA



市民美術展

芸術文化

人々に深い感動を与え、心の豊かさを満たす芸術文化は、毎日の生活に潤いと安らぎを与えます。

優れた公演や美術作品の鑑賞、日頃の文化活動への参加など、生活の中に芸術文化を求める人々が増加しています。多くの人が芸術文化を楽しむため、文化活動に触れる機会を拡充したり、文化活動を楽しむ人々の裾野を広げ、質を高めるため、様々な事業を実施しています。

また、全国へ向け薫り高い熊本独自の文化の発信を図るために、新たな芸術文化が生まれる環境の整備や

文化活動者に対する積極的な支援を行っています。

地域文化

各市民センターや公民館、コミュニティセンター等では、市民がより身近に文化に接し、様々な文化活動を展開できるような環境づくりに努めています。

又、地域に継承され育まれてきた伝統文化について、理解や関心を深める機会の創出や情報の提供に努め、先人が築き、残してきた地域の文化の良さを来るべき21世紀に伝えていきます。



刑部邸コンサート

HAPPINESS KUMAMOTO

美しいものに感動できる
「豊かな感性を育むまちづくり」

生活文化 SEIKATSU-BUNKA

植物園



自分らしい生き方を求め、価値観が多様化、個別化する現代において人々は衣、食、住、遊といった日常生活やその舞台となる都市空間の中から個性豊かな生活文化を創出しています。

そのような市民一人ひとりが担っている生活文化活動を積極的に支援し、より心豊かで潤いのある生活文化の創造を実現するために、行政の役割がますます重要になっています。

本市では、生活文化の拠点となる文化施設の整備・充実、「くまもとお城まつり」「草枕」全国俳句大会等の文化事業の開催、個性的で楽しさあふれるまちづくり、そして生活文化産業の振興など多方面から市民の活発な生活文化活動を支援していきます。

動植物園

昭和4年、水前寺にある成趣園東側に開設された動物園は、昭和44年に、江津湖のほとりの現在地に移転しました。

その後、平成3年4月、都市緑化植物園と一体化して「熊本市動植物園」が誕生し、市民の憩いの場として多くの人々に愛され親しまれています。

現在、約24万㎡の敷地に、133種972点の動物と1,180種103,000本の植物、さらに大型11種、小型36種の遊戯施設で構成されています。

平成9年には日中共同学術研究の成果で、金縷猴の星星(雄)が誕生しました。可愛い親子の様子は、市民の人気の的となっています。

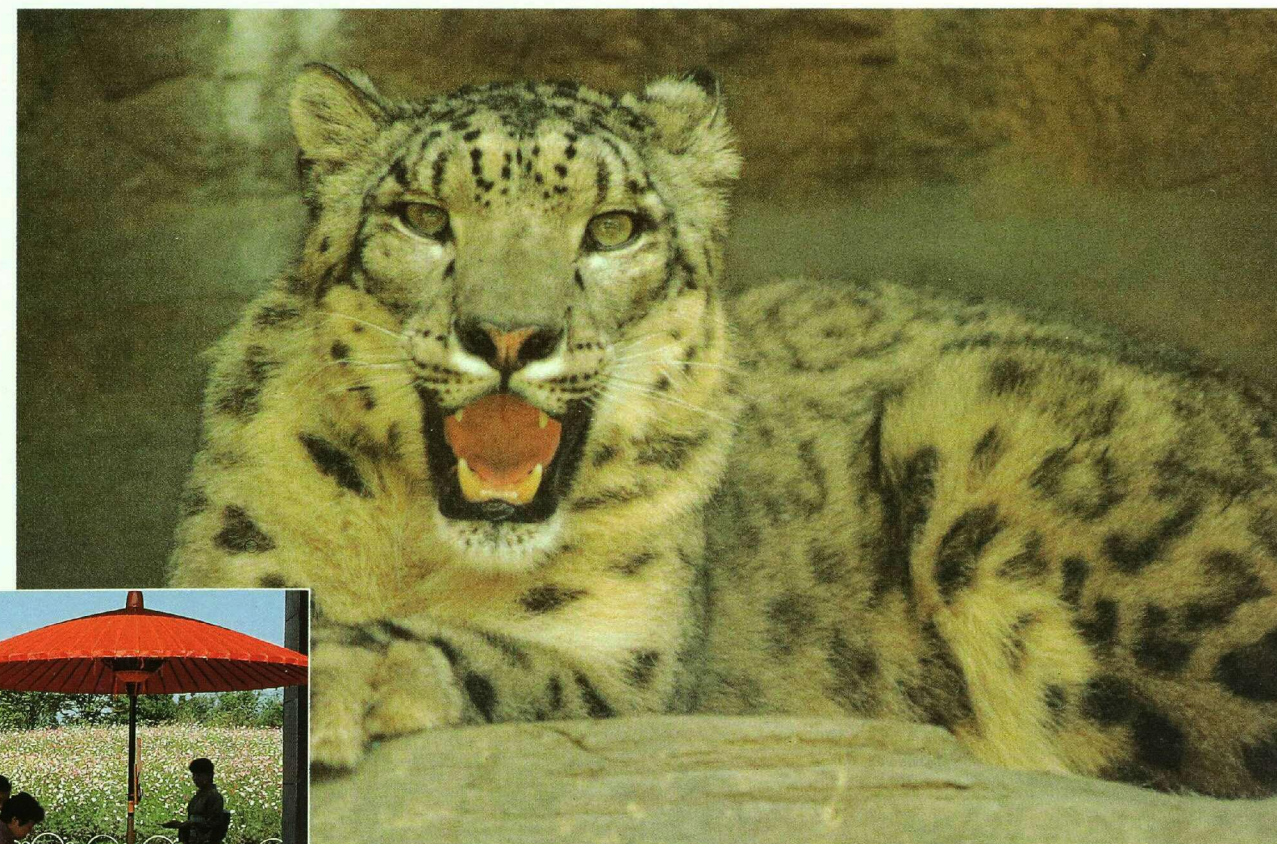
また、平成10年4月には、姉妹都市米国サンアントニオ市からユキヒ

ョウのボロミール(雄)が来園しました。熊本の気候にも慣れ、雌のコユキとの間に二世誕生の期待が高まっています。

自然環境の荒廃が深刻化している今日、動植物園は、市民の憩いの場としての役割と共に、楽しみながら学び、生命の大切さ、自然環境の大切さを現解できる環境教育の拠点としての整備に努めています。

平成8年に完成した飼育管理センターは、動物の健康管理や野生動物の種の保存等についての研究機能、野生動物保護の機能を備えています。

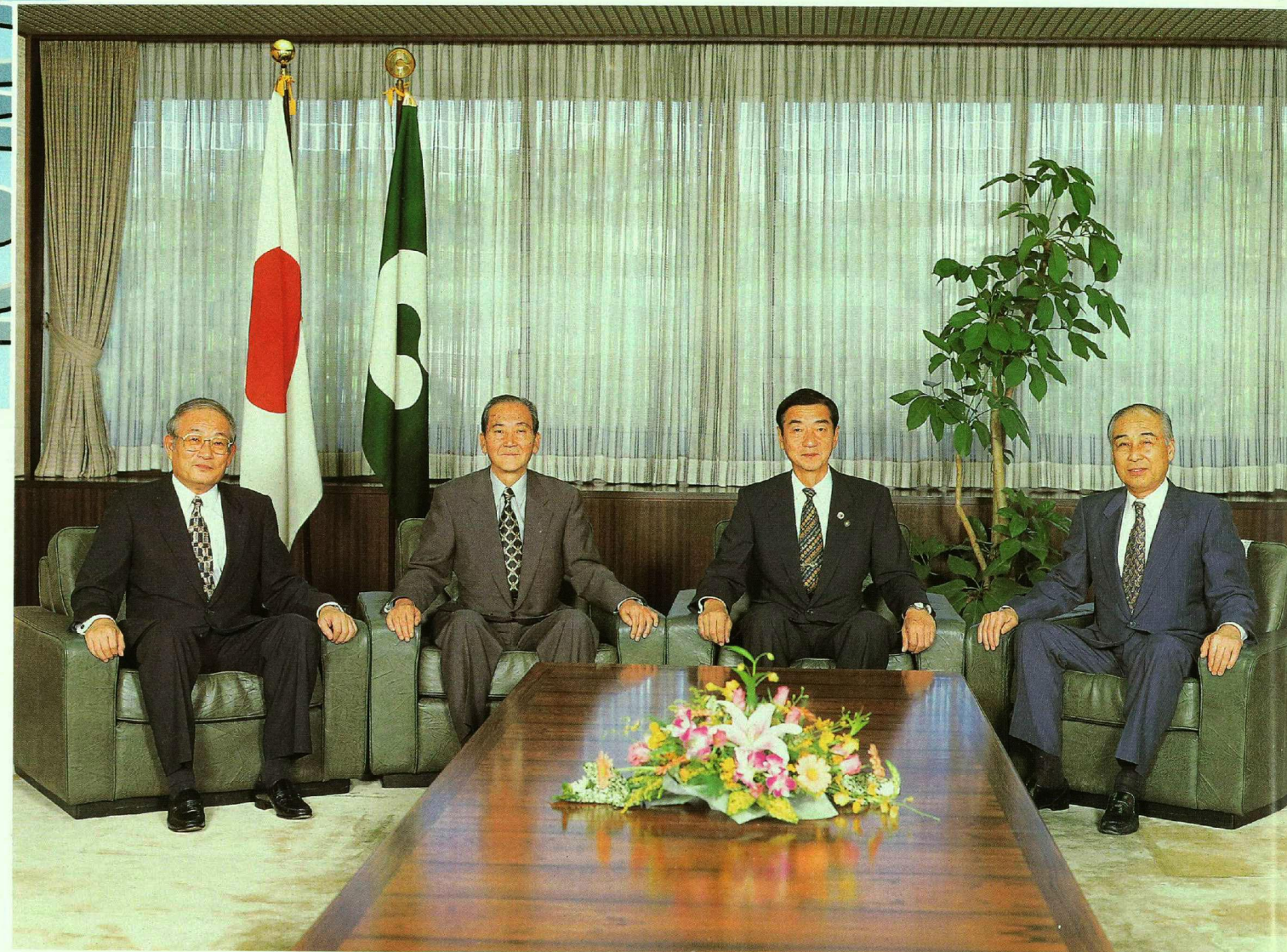
平成10年からは、清流のシンボルであるホタルの人工飼育の研究を始めました。動植物園でのホタルの乱舞を夢見て・・・今、飼育に取り組んでいます。



ユキヒョウ(ボロミール)

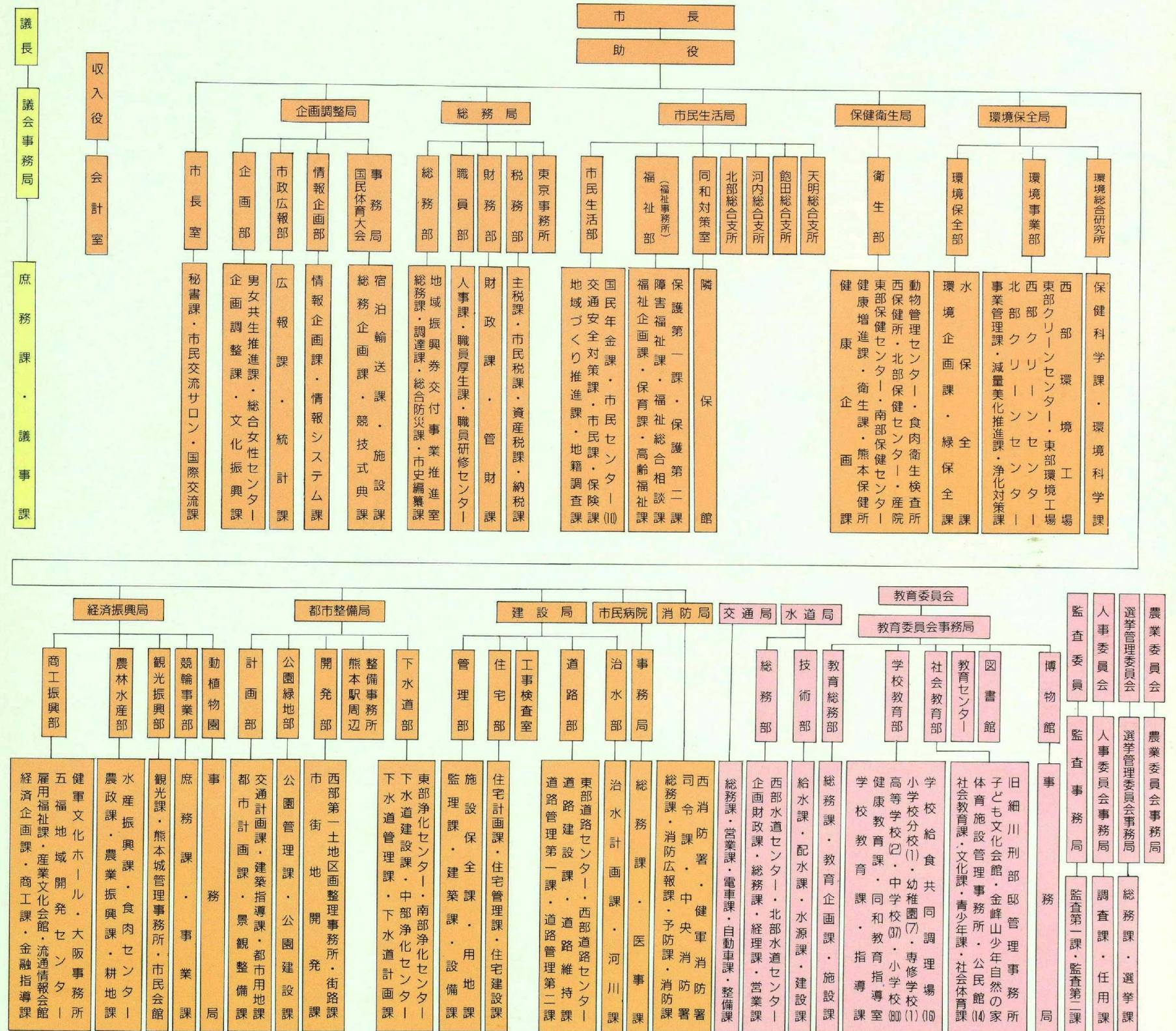
■歷代市長

代	氏 名	就任年月日	退任年月日	代	氏 名	就任年月日	退任年月日
第1代	杉 村 大 八	明治22. 5. 6	明治26. 7. 9	第11代	平 野 龍 起	昭和17. 6. 25	昭和20. 8. 10
2	松 崎 為 己	〃 26. 9. 15	〃 30. 8. 2	12	石 坂 繁	〃 20. 10. 4	〃 21. 3. 11
3	辛 島 格	〃 30. 9. 13	大正 2. 1. 20	13・14	福 田 虎 亀	〃 21. 6. 14	〃 23. 2. 9
4	山 田 珠 一	大正 2. 4. 2	〃 3. 10. 10	15	佐 藤 真佐男	〃 23. 4. 7	〃 27. 3. 7
5	依 田 昌 兮	〃 4. 1. 14	〃 6. 9. 3	16	林 田 正 治	〃 27. 3. 20	〃 31. 2. 23
6	佐 柳 藤 太	〃 6. 11. 20	〃 10. 11. 19	17・18	坂 口 主 税	〃 31. 3. 16	〃 38. 1. 4
7	高 橋 守 雄	〃 11. 1. 19	〃 14. 7. 13	19・20	石 坂 繁	〃 38. 2. 15	〃 45. 11. 26
8	辛 島 知 己	〃 14. 9. 14	昭和 4. 7. 4	21～24	星 子 敏 雄	〃 45. 12. 20	〃 61. 12. 6
9	山 田 珠 一	昭和 5. 2. 5	〃 9. 4. 17	25・26	田 尻 靖 幹	〃 61. 12. 7	平成 6. 12. 6
10	山 隈 康	〃 9. 5. 14	〃 17. 5. 13	現市長	三 角 保 之	平成 6. 12. 7	在 任 中



左から岩本洋一収入役、御厨一熊助役、三角保之市長、中村順行助役

■熊本市行政機構図(平成11年1月1日)





主海偉佐雄 議長



中 沢 誠 副議長

しあわせを実感できる
「夢あふれるまちづくり」

市議会

SHIGIKAI

市議会は、市民から選ばれた議員52名（現員51名）で構成されています。会派としては、自由民主党熊本市議団（15名）、平成クラブ（11名）、新風自由民主党市議団（7名）、社会民主クラブ（7名）、公明党（7名）、日本共産党（2名）、無所属（1名）、自由クラブ（1名）の8会派が結成されています。

会議は、年4回開かれる定例会と必要がある場合に開かれる臨時会があります。内部の審査機関としては、常任委員会と議会運営委員会及び特別委員会があります。常任委員会は総務・教育民生・保健衛生・経済・建設・公営企業の6委員会に

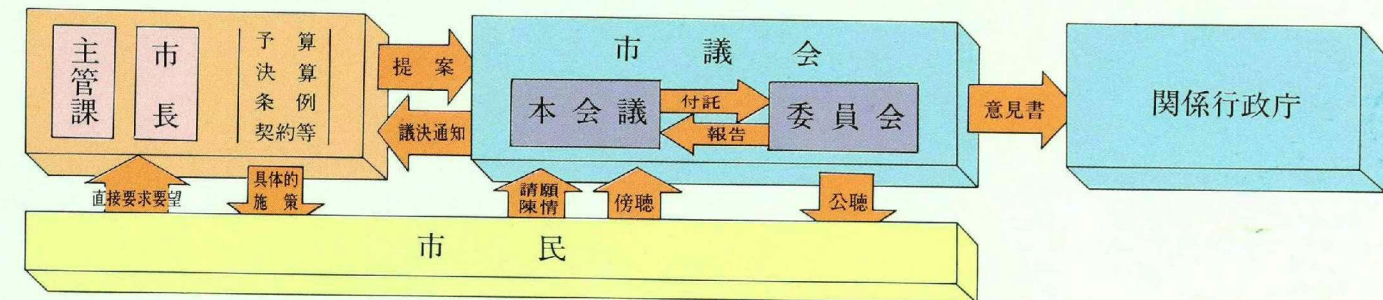
■歴代市議会議長

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	有馬源内	明治22. 4.26	明治24. 1.21
2	興津景章	明治24. 1.22	明治28. 5.13
3	河原性親	明治28. 5.14	明治31. 5.22
4	吉永為己	明治31. 5.23	明治36. 2. 5
5	山田珠一	明治36. 2. 6	明治37. 4.30
6	吉永為己	明治37. 5.27	大正2. 4.30
7	林千八	大正2. 5.10	明治6. 4.30
8	山隈康	明治6. 5.15	明治10. 9.30
9	迫源次郎	明治10.10.14	明治14. 9.30
10	山隈康	明治14.10.12	昭和9. 5. 7
11	平野龍起	昭和9. 5. 8	明治17. 6.14
12	佐藤真佐男	明治17. 7.23	明治22. 4.29
13	佐藤真佐男	明治22. 6. 9	明治23. 4. 7
14	大塚勇次郎	明治23. 6. 5	明治26. 4.29
15	大塚勇次郎	明治26. 5.15	明治30. 4.30
16	兼坂安次	明治30. 5.21	明治34. 4. 8
17	打出信行	明治34. 6.12	明治36. 3.24
18	寸坂幸夫	明治36. 3.24	明治38. 4.30
19	阿部次郎	明治38. 5.18	明治40. 3.18
20	井上常八	明治40. 3.18	明治40.12. 7
21	石井辰雄	明治41. 7. 4	明治42. 4.30
22	阿部次郎	明治42. 5.20	明治43. 7. 3
23	坂梨日露	明治43. 7.13	明治45.12. 4
24	黒田弥一郎	明治45.12. 4	明治46. 4.30
25	落水清	明治46. 5.20	明治48. 6. 6
26	古川国雄	明治48. 6. 6	明治50. 4.30
27	紫垣正良	明治50. 5.16	明治52. 6. 4
28	上田堅太	明治52. 6. 4	明治54. 4.30
29	島永慶孝	明治54. 5.14	明治56.12. 8
30	藤山増美	明治56.12. 8	明治58. 4.30
31	宮原光男	明治58. 5.18	明治60. 9. 6
32	大石文夫	明治60. 9. 6	明治61.12.15
33	内田幸吉	明治61.12.15	明治62. 4. 3
34	西村建治	明治62. 5.22	明治63.12.16
35	村上春生	明治63.12.16	平成2. 3.26
36	矢野昭三	平成2. 3.26	明治3. 4.30
37	嶋田幾雄	明治3. 5.17	明治5.12. 3
38	中村徳生	明治5.12. 3	明治7. 4.30
39	荒木哲美	明治7. 5.19	明治9. 3.27
40	主海偉佐雄	明治9. 3.27	在 任 中

■歴代市議会副議長

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	下田一直	明治22. 4.26	明治24. 1.21
2	下田耕造	明治24. 1.22	明治31. 5.22
3	片山甚十郎	明治31. 5.23	明治32. 2. 7
4	林定男	明治32. 2. 8	明治36. 2. 5
5	出田彦太郎	明治36. 2. 6	明治36. 2.11
6	園部交雅	明治36. 2.12	明治36. 5.11
7	板垣正軌	明治36. 5.12	明治37. 2.12
8	有働格四郎	明治37. 2.13	明治40.11. 4
9	板垣正軌	明治40.11.14	明治42. 1.27
10	河田巖	明治42. 1.28	大正2. 4.30
11	井場熊喜	大正2. 5.10	明治6. 4.30
12	峽謙	明治6. 5.15	明治7. 3.10
13	藤野乱	明治7. 3.11	明治10. 9.30
14	水上誠規	明治10.10.14	明治14. 9.30
15	河田巖	明治14.10.12	昭和4. 9.30
16	平野龍起	昭和4.10.12	明治9. 5. 7
17	橋本寿七	明治9. 5. 8	明治17. 5.20
18	西郷一恵	明治17. 6.11	明治22. 4.29
19	大塚勇次郎	明治22. 6. 9	明治23. 6. 5
20	加川恒次	明治23. 6. 5	明治26. 4.29
21	北利民	明治26. 5.15	明治28. 9. 5
22	上野勉	明治28. 9.25	明治30. 4.30
23	森光吉	明治30. 5.21	明治32.12.28
24	吉村貞次	明治34. 6.12	明治35. 3.21
25	坂梨日露	明治35. 3.21	明治37. 7. 9
26	吉村貞次	明治37. 7. 9	明治38. 4.30
27	石井辰雄	明治38. 5.18	明治41. 7. 4
28	吉村貞次	明治41. 7. 4	明治42. 4.30
29	佐藤寿三	明治42. 5.20	明治44. 3.25
30	古川国雄	明治44. 3.25	明治44. 6.28
31	岩尾恵	明治44. 9.13	明治46. 4.30
32	阪本富	明治46. 5.20	明治48. 6. 6
33	荒木昇	明治48. 6. 6	明治50. 4.30
34	藤山増美	明治50. 5.16	明治52. 6. 4
35	矢野昭三	明治52. 6. 4	明治54. 4.30
36	上妻重蔵	明治54. 5.14	明治56.12. 8
37	田尻武男	明治56.12. 8	明治58. 4.30
38	白石正	明治58. 5.18	明治60. 9. 6
39	北口政義	明治60. 9. 6	明治61.12.15
40	吉村本潔	明治61.12.15	明治62. 4.30
41	竹村裕人	明治62. 5.22	明治63.12.16
42	村上裕人	明治63.12.16	平成2. 3.26
43	佐藤公平	平成2. 3.26	明治3. 4.30
44	西田統	明治3. 5.17	明治5.12. 3
45	伊形寛治	明治5.12. 3	明治7. 4.30
46	宮原正	明治7. 5.19	明治9. 3.27
47	中 沢 誠	明治9. 3.27	在 任 中

■市議会のしくみ



■市議会議員（平成11年1月1日現在）

氏 名	会 派	氏 名	会 派
主海偉佐雄	自 民 党	大江政久	社 民 党
中 沢 誠	公 明 党	東 祐代	社 民 党
坂田誠二	自 民 党	磯 道文	公 明 党
藤山英美	平 成 会	藤 正行	自 民 党
田中誠一	平 成 会	江 哲美	自 民 党
内田三千夫	平 成 会	伊 寛治	自 民 党
重松孝文	共 産 党	奥 田光弘	平 成 会
小山久子	社 民 党	鈴木昌彦	平 成 会
中松健児	社 民 党	宮 原正一	平 成 会
鈴木弘	公 明 党	諸 熊文雄	新 自 民 党
古川泰三	自 民 党	上 村 恵一	社 民 党
税所史照	自 民 党	西 泰史	公 明 党
山内光昭	平 成 会	亀 井省治	公 明 党
下川寛	平 成 会	中 村徳生	自 民 党
竹原孝昭	新 自 民 党	嶋 田幾雄	自 民 党
北口和皇	自 由 会	竹 本 勇	自 民 党
佐々木俊和	社 民 党	田 尻武男	自 民 党
田 辺正信	公 明 党	白 石 昭三	自 民 党
島田俊六	自 民 党	矢 野 慶孝	自 民 党
河村寅麿	自 民 党	村 山 義雄	無 所 属
田 尻 博輝	平 成 会	西 村 建治	平 成 会
牛嶋弘	新 自 民 党	大 石 文夫	新 自 民 党
岡田健士	新 自 民 党	紫 垣 正良	新 自 民 党
落水清弘	新 自 民 党	西 野 法久	公 明 党
益田牧子	共 産 党		

■常任・特別委員会（平成11年1月1日現在）

名 称	定数	所 管 事 項
総 務 委 員 会	9	市長室、企画調整局、総務局、会計室、消防局、選挙管理委員会、監査委員、人事委員会の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項
教 育 民 生 委 員 会	9	市民生活局、教育委員会の所管に属する事項
保 健 衛 生 委 員 会	8	保健衛生局、環境保全局の所管に属する事項
経 済 委 員 会	9	経済振興局、農業委員会の所管に属する事項
建 設 委 員 会	9	都市整備局、建設局の所管に属する事項
公 営 企 業 委 員 会	8	水道局、交通局の所管に属する事項
議 会 運 営 委 員 会	13	議会運営に関する調査
交 通 対 策 特 別 委 員 会	14	九州新幹線整備並びに鉄道高架化に関する調査
ス ポー ツ 振 興 対 策 特 別 委 員 会	14	国民体育大会およびハンドボール世界選手権大会の推進並びに競技力向上対策に関する調査

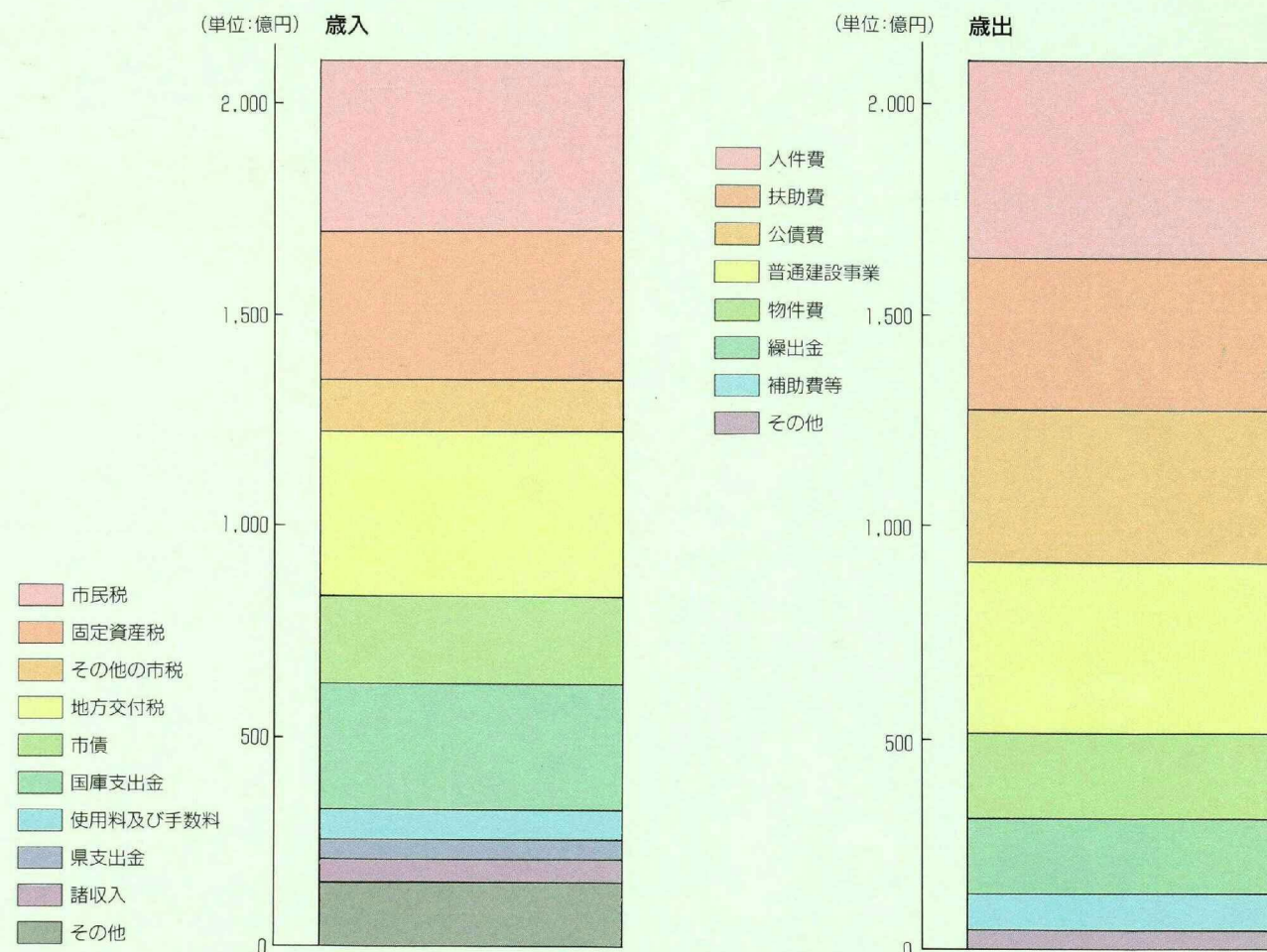


しあわせを実感できる
「夢あふれるまちづくり」

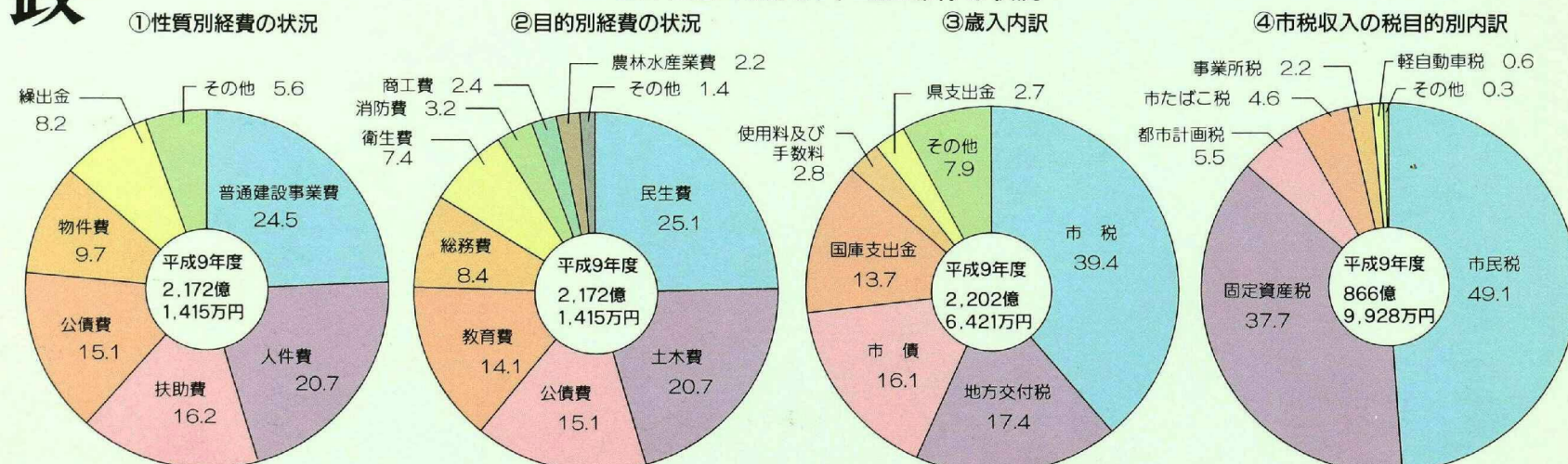
財政 ZAISEI

●平成10年度当初予算(一般会計)構成比

総額 2,092億円



■平成9年度決算(一般会計)の状況



しあわせを実感できる
「夢あふれるまちづくり」

広報・広聴 KÔHÔ・KÔCHÔ



市政懇談会

本市では、「すべての市民の皆さんがしあわせを実感できるまちづくり」の実現を目指し、市民と行政が一体となったまちづくりを進めています。

このため、広報広聴活動の原点である対話とコミュニケーションを通して市民と行政相互の信頼関係を築き、共通の認識をもつことができるような土壌づくりに全力で取り組んでいます。

〈広報活動〉

市政だよりなどの刊行物による広報
毎月発行の市政だよりのほか、目の不自由な方のために点字、音声、拡大版の市政だよりも作成しています。また、市の施策を紹介した「まちがたり」やその具体的事業を紹介する「ひびき」を発行しています。

テレビ、ラジオによる広報

市の施策、行事、施設にかかわるタイムリーな話題などを広報番組としてテレビ、ラジオで放送しています。それぞれのメディアの特性を生かした番組づくりを行っています。

新聞、雑誌などによる広報

市政の動きや生活に密着した情報などを新聞紙上や雑誌、タウン誌などに掲載しています。

報道機関を通じての広報

市政に関する情報や資料を報道機関に提供するなどパブリシティ活動を積極的にを行っています。

〈広聴・交流活動〉

市民交流サロンは、まちづくりへの提案、市行政への意見や要望を聴き、市政に反映させるとともに、市民の交流の場として利用されています。

市政懇談会

市長が地域に出向き、様々な提案・要望を聴取、意見交換を行う市民との直接対話の機会を持ちます。

出前市民交流サロン

特色あるまちづくりの推進のため、市民交流サロンの職員が地域に出向き、身近な問題や市政全般について懇談を行っています。

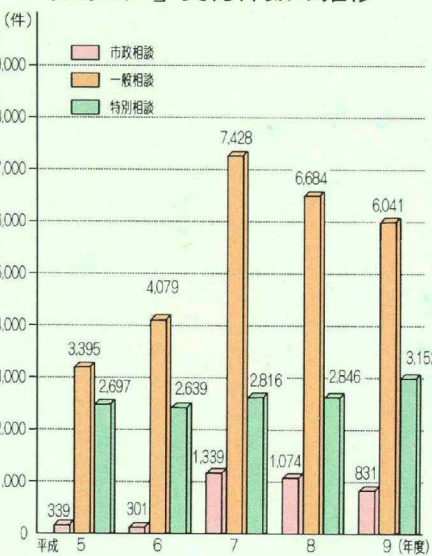
サロンdeトーク

市長をはじめ市の幹部職員が市民交流サロンで市民と懇談し、よりよい市政を実現するために意思の疎通を図ります。

市長への手紙、わたしの提言

市政への提案や要望、熊本市の将来像などを手紙やFAX、インターネットで受け付けています。

「市民の声」受付件数の推移



市政に関する市民意識調査

市民の多様化する要望、意見などを統計的に把握するため、アンケートによる調査を行い、将来のまちづくりの参考としています。

市政モニター

市内全小学校区から計100名の市政モニターを委嘱し、市政に関するいろいろな意見を地域別、年代別など組織的に聴いています。

ランチタイム・サロン

市役所をもっと身近に感じてもらうため、昼休みの時間を利用してコンサートなどを開催し、憩いのひとときを提供しています。

市民相談

市民の様々な相談に迅速に対応、処理しています。市政に関する市政相談と民事に関する一般相談や弁護士、税理士などの専門相談員による特別相談を行っています。

ボランティア活動推進

ボランティア活動に関する情報の収集、提供、相談のほかボランティア活動したい人やグループを登録し、必要とする施設や団体などに紹介しています。